

北海道の要請・措置

札幌市の取組

<感染拡大防止に向けた道民の皆様へのお願い(5/27～8/9)>
 <夏の感染拡大防止パッケージ(8/10～8/31)>※
 <医療のひっ迫と感染の拡大を防ぐ取組(9/1～9/30)>※
 ※BA.5対策強化宣言
 <全数届出の見直しに対応した取組の推進(10/1～)>
 ○基本的な感染防止行動の徹底と感染への備えを実践
 ・三密回避、人との距離確保、マスク着用、手指消毒、換気の徹底
 ・感染に備え、解熱剤や3日間程度の食料等を用意(8/10～)
 ・飲食では、短時間、深酒せず、大声を出さず、会話時はマスクを着用
 ・感染に不安を感じる時は、ワクチン接種の有無にかかわらず検査を受検
 ○ワクチン接種の検討
 ○事業者について(8/10～)
 BCPの策定、点検など、事業継続に支障が起きないための必要な取組の実施
 ○飲食店等について
 感染防止対策チェックリスト項目遵守
 ○学校教育活動等における感染防止対策の徹底
 ○保育所・高齢者施設等で職員の体調管理を徹底、希望する職員のワクチン3回目接種等が進むよう配慮
 ○イベント開催について
 人数上限：5,000人以下または収容定員50%
 収容率：大声有50%・大声無100%以内
 ※感染防止安全計画を策定する場合
 人数上限：収容定員まで、
 収容率：100%以内(「大声なし」が前提)
 ※同一イベントにおいて、「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催する場合の収容率上限(10/1～)
 大声有エリア50%・大声無エリア100%

○新型コロナウイルス感染症対策テレワーク導入補助金受付(5/16～12/16)
 ○夜間急病センターにおいて小児のコロナ陽性患者の救急外来受入を開始(5/30～)
 ○集団接種会場「各区民センター」にて、4回目接種を全区で開始(6/1～6/19)
 ○軽症者向けに薬局から抗原検査キットを配付する事業を開始(6/1～12/31)※最大配付数約3,000キット/日(8月)
 ○集団接種会場「札幌サンプラザ」にて、4回目接種を開始(6/2～)
 ○集団接種会場「札幌市医師会館」にて、4回目接種を開始(6/3～)
 ○北海道日本ハムファイターズと連携した「エッセンシャルワーカーへの感謝応援キャンペーン」として、啓発ポスターや動画を作成し、チ・カ・ホの柱巻き広告や、区役所、地下鉄構内など、市内各所に掲出(6/4～)
 ○入院待機ステーションにおいて陽性者外来診療(週3日程度)を開始(6/7～7/31)
 ○専門家によるワクチン解説動画を作成し、札幌市広報部公式YouTubeチャンネルにて公開(6/10～)
 ○北海道新聞紙面に4回目接種に係る手続きを説明する広告を掲出(6/11)
 ○市内のワクチン接種実施医療機関(約600医療機関)に4回目接種の手続きを説明するポスターの掲示を依頼(6/13～)
 ○訪日旅行再開に併せ、旅行者、観光事業者に向けた情報を市ホームページで発信(6/17～)
 ○地下鉄中吊り、中央バス車内に4回目接種に係る手続きを説明する広告を掲出(6/20～)
 ○集団接種会場「札幌エルプラザ」にて18歳以上の3回目接種を開始(6/20～)
 ○1、2回目に職域接種を実施し、3回目未実施の企業・団体に北海道と連名で新型コロナウイルスワクチン訪問接種事業のお知らせを通知(6/21)
 ○入院受入確保病床をフェーズ1に移行し、619床から540床へ変更(7/1～)
 ○入院待機ステーションの夜間救急受入を一時休止し、陽性患者の夜間救急受入を医療機関の輪番制で対応(7/1～)
 ○新型コロナウイルスワクチン訪問接種事業の対象年齢を12歳以上から5歳以上に拡大(7/1～)
 ○北海道が主催する札幌大学における新型コロナウイルス関連の大学生向けセミナーに併せ学生、教職員及び近隣住民への訪問接種を実施(7/1)
 ○第2PCR検査センターを廃止(6/30)
 ○集団接種会場「札幌グランドホテル」にて3、4回目接種を開始(7/5～7/14)
 ○罹患後症状(いわゆる後遺症)に対応可能な医療機関の情報を市ホームページで発信(7/7～)
 ○集団接種会場「札幌サンプラザ」にて予約なし接種を再開(7/14～)※前回実施3/8～5/13
 ○集団接種会場「各区民センター」にて、4回目接種を北区を除く各区で再開(7/20～9/28)
 ○「福祉協賛さっぽろビアガーデン」における感染対策の支援として、実行委員会へ感染対策に係るイラストデータを提供(7/22～8/17)
 ○入院待機ステーションにおいて夜間救急受入を再開(7/22～7/24(緊急稼働)、7/28～9/30)
 ○札幌市医師会との共催で、市内医療機関の医師や看護師に対して感染対策に係るオンラインセミナーを実施(7/29)
 ○臨時PCR検査センターを廃止(7/31)
 ○入院受入確保病床をフェーズ2に移行し、540床から605床へ変更(8/1～8/11)
 ○重症化リスクの高い高齢者施設及び障がい者施設の職員に対して、スクリーニング検査を開始(8/1～)
 ○救急要請のひっ迫に伴う救急車の適正利用に係る注意喚起について、報道機関へ協力要請(8/3)
 ○入院待機ステーションにおいて日中救急受入を再開し、24時間救急受入に移行(休日:8/5～9/30、平日:8/5～9/15)
 ○健康観察アプリ「こびまる」の送付対象者を自宅療養と判定された方から、ほぼすべての陽性者に変更。入力内容に基づき療養判定及び療養期間の目安が表示されるよう改修(8/6～)
 ○集団接種会場「札幌市医師会館」にて、武田社製ワクチン(ノババックス)の接種を開始(8/7～9/25)
 ○標語とイラストを組み合わせた感染対策の啓発動画を作成し、市内大型ビジョンにて公開(8/10～)
 ○夏の感染拡大防止に向けた道民の皆様へのお願いに伴い、経済団体等へ感染状況を情報提供の上、感染防止対策の徹底について市内事業者への周知を要請(8/10～8/31)

北海道の要請・措置

札幌市の取組

- 集団接種会場「各区民センター」にて、3回目接種を北区を除く各区で再開(8/10～9/28)
- 入院受入確保病床をフェーズ3に移行し、605床から730床へ変更(8/12～9/30)
- 北海道で活躍するアイドルグループ「FRUiTY」、「One of one Love」が出演するワクチン接種の啓発動画4種類を作成し、札幌市広報部公式YouTubeチャンネルや市内大型ビジョンにて公開(8/16～)
- 医療従事者等への感謝と応援の啓発として、市内各所におけるブルーライトアップを実施(8/16)
- 入院受入医療機関における要介護の高齢者病床を30医療機関163床から37医療機関212床に拡充(8/12～8/31)
- 集団接種会場「中央区民センター会場」、「清田区民センター会場」にて予約なし接種を再開(8/23～9/28)
- 下水サーベイランスに係る調査結果を市ホームページにて公開(8/26～)
- 札幌市小児科医会との共催で小児患者への医療提供に係るオンラインによるセミナーを実施(9/1)
- 医療のひっ迫と感染拡大の防止に向けた道民の皆様へのお願いに伴い、経済団体等へ感染状況を情報提供の上、感染防止対策の徹底について市内事業者への周知を要請(9/1～9/30)
- 入院受入医療機関等で、ウイルス暴露前の発症予防効果がある新治療薬エバシエルの投与体制を整備(9/1～9/30)
- 集団接種会場「各区民センター」にて、予約なし接種を北区を除く各区で再開(9/6～9/28)
- 「エッセンシャルワーカーへの感謝応援キャンペーン」として、市民から寄せられた感謝応援メッセージ入りのポスターを作製し、市内の199医療機関、特別養護老人ホーム153施設等へ送付(9/6～9/30)
- 「エッセンシャルワーカーへの感謝応援キャンペーン」として、北海道日本ハムファイターズと連携し、啓発用のポケットティッシュを作成し、「さっぽろオータムフェスト2022」11丁目会場や、市役所、区役所、保健所など、市内各所で配布(9/7～9/30)
- 「さっぽろオータムフェスト2022」における感染対策の支援として、実行委員会へ感染対策に係るイラストデータを提供(9/9～10/1)
- 市内医療機関にて、5～11歳の小児に対する3回目接種を開始(9/14～)
- 入院待機ステーションにおいて陽性者外来診療(週3日程度)を開始(9/21～)
- 4回目接種の対象者で未接種の方に対して、オミクロン株対応ワクチン接種の案内文を送付(9/24～)
- 「療養判定サイト」を、健康観察を補助する「問診サイト」に改修して公開(9/26～)
- 自宅療養者が必要とする情報をわかりやすくまとめた「療養ナビ」を公開(9/26～)
- 自宅療養者に対する電話診療・オンライン診療を行う医療機関の一覧を市ホームページで公開(9/26～)
- 新型コロナウイルスワクチン訪問接種事業において、オミクロン株対応ワクチンの接種を開始(9/28～)
- 市内医療機関にて、オミクロン株対応ワクチンの接種を開始(9/30～)
- 入院受入確保病床をフェーズ2に移行し、730床から605床へ変更(10/1～10/16)
- 市内医療機関にて、武田社製ワクチン(ノババックス)の接種を開始(10/1～)
- 集団接種会場「札幌サンプラザ」、「札幌エルプラザ」にて、オミクロン株対応ワクチンの接種を開始(10/6～)
- 集団接種会場「札幌市医師会館」にて、オミクロン株対応ワクチンの接種を開始(10/15～)
- 集団接種会場「札幌時計台ビル」にて、オミクロン株対応ワクチンの接種を開始(10/17～)
- 入院受入確保病床をフェーズ1に移行し、605床から546床に変更(10/17～11/6)
- 「エッセンシャルワーカーへの感謝応援キャンペーン」として、北海道日本ハムファイターズと連携し、啓発用のポケットティッシュを作成し、札幌市医師会館をはじめとした集団接種会場5カ所で配布(10/22～)
- 集団接種会場「札幌駅前北口(TKP札幌駅カンファレンスセンター)」にて、オミクロン株対応ワクチンの接種を開始(10/25～11/30)
- 集団接種会場「札幌エルプラザ」にて、小児(5～11歳)の接種を開始(10/29～11/26)
- 入院待機ステーションにおいて救急受入を再開(休日:11/3～、平日:11/9～)
- 入院受入確保病床をフェーズ2に移行し、553床から601床に変更(11/7～)
- 市内医療機関にて、生後6か月～4歳の乳幼児に対する接種を開始(11/7～)

市長からの呼び掛け(5/27以降)
市長記者会見(8回)、市長からのメッセージ動画をSNS、YouTubeにて配信